

## ①意味作用



## ②表現



## ③伝達

■意味作用：何かがある何かを表すという働き

■「①意味作用」に「話し手」という要素が加わると「②表現」になる。

「②表現」に「聞き手」という要素が加わると「③伝達」になる。

つまり、

・「①意味作用」は「②表現」の前提

・「①意味作用」「②表現」は「③伝達」の前提

■「①意味作用」はすべての場合を通じて存在していなければならない基本的な事柄

## 【意味作用の二つの極】

非慣習的な  
意味作用

■ex. 詩、哲学的な造語  
→意味があいまいで伝わりにくい

日常言語

■意味が、科学的な述語ほど厳密でもないが、  
詩ほどあいまいでもない

慣習的な  
意味作用

■ex. 科学的な述語、「+」「-」  
→汲み取るべき意味が厳密で明確